

## 令和5年度第3回佐久市不登校等対策連絡協議会 概要

- 1 日 時 令和5(2023)年12月15日(金) 14:00~16:00
- 2 場 所 佐久市役所 南棟3階 大会議室
- 3 出席者 依田会長、北垣内副会長、倉坪委員、原委員、藤沢委員、高橋委員、福島委員、小池委員、甘利委員 以上9名  
事務局 吉岡教育長、佐々木学校教育部長、堀籠主幹指導主事、大井学務係長、高橋指導主事、大工原主任

### 4 会議の概要

【委嘱書交付】佐久市 健康づくり推進課(保健師) 小池千晶 委員

- (1) 教育長あいさつ
- (2) 会長あいさつ
- (3) 協議事項

#### ア 不登校児童生徒の状況(事務局説明)

○長野県教育委員会心の支援課より「令和4年度 不登校の状況について」に示された通り、県全体も佐久市も不登校児童生徒数は増加傾向。

○R5.11末までの長期欠席児童生徒数の状況は、30日以上欠席者数はR4同期より増加傾向だが、100日以上欠席者数は若干減っている。市内小中学校においてもOL授業、学校以外の場所での学びを出席扱いにする等、本人の気持ちが前向きになる事を大事に支援していることが考えられる

#### イ 関係機関とのさらなる連携について(事務局説明)

○各学校の取組(工夫していること、困っていること等)

⇒第3回 いじめ・不登校担当者会意見交換メモ参照

○佐久市各課の取組…佐久市HPにも各課の相談窓口が掲載されている

- ・子育て支援課…子育てに関する総合的な相談窓口、児童虐待等の一時相談窓口として児相と連携
- ・健康づくり推進課…保健師が関わり、学校だけでは難しい家庭訪問・医療と連携した支援
- ・福祉課…生活困窮世帯の支援(小4~中3対象「子どもの学習・生活支援事業」)

#### ☆連携支援のポイント

- ・情報共有…幼保小中、学校内、外部機関との情報をどのように共有し、支援につなげるか。
- ・休み初めの支援…何日も休むと児童生徒本人、保護者は辛く、連携した支援も難しくなる。
- ・保護者支援…相談窓口はたくさんあるが、悩みや困り感のある保護者への支援が必要。

#### ウ 連携の工夫について意見交換

○保→小では、就学に向けた支援会議を行う。気持ちのコントロール、友だち関係の他、学習が入りつまづく様子が見られる。

○幼保→小に丁寧なプレ支援シートをもとに移行支援会議を行っている。職員目で見ると「そういうことか」と捉え直すことが必要。子どもたちが、「楽しみや居場所がある」と思える連携が大事。

○その子のためにと寄り添う支援に感謝。魅力ある保育園・学校に。担任が信用できず欠席が続いた時、支援級の先生が声をかけてくれ救われた。人の気持ちや心のつながりを大事にしたい。

○なぜ不登校は増え続けているのか。小学校低学年でさえ5・6時間授業、先生方の余裕がない、スマホの保有率増で子どもたちは常につながる緊張感がある。「不登校になったら支援」では収まらない。

○未然防止が大事。小の欠席状況から中での不登校傾向予想はできるが、具体的に何ができるか。

トラブルをかかえている生徒数人と昼休みに校長室で話をすると様々なことが出てくる。コミュニケーションシートを自校版にして試行している。連携支援のしくみが大事(手続き、流れ等)。

○保健師の役割は、子どもが生まれる前からかかわること。母親のメンタル、検診時の様子、子の発達の情報をもっている。

○先日、高校説明会の折に佐久市 SMA が本校生徒を支援してくださっていたことを初めて知った。中高連携の中で個々の話がなかなかできない。県と市の違いはあるが、もっと連携を深めたい。

☆県教育委員会で進めている「コミュニケーションシート」は2月にはできる。学校・児童生徒・保護者・関係機関が共通認識を持ち、利用できるよう丁寧に周知していきたい。

☆保護者・子どもを中心にした連携支援マップ（簡易的な情報でわかりやすいもの）が必要。

☆学校と保護者の間に入る客観的にみることができると必要。

エ 子どもの多様な居場所・連携の情報提供について

⇒フリースクール佐久（佐久市）、おもがえっコ（御代田町） 資料参照

(4) 会議後の感想・意見

○「**連携**」をキーワードに話し合えたことは**有意義**であった。

・幼保⇒小、小⇒中、中⇒高へ「移行支援会議」が行われ、校種間での「伝達」はできている。

・見届けについて、幼保⇒小は就学支援委員会専門員が複数回参観、小⇒中は担当校を SMA が、中⇒高は可能ならば SMA が、日常の姿を実際に見て、実感をもって保護者にも伝えられたらよい。学校は、このような参観・見届けを望んでいる。

・保護者とより円滑に子どもをみていくためにも「客観的な立場」の方は必要。

○**子育て支援課、福祉課、健康づくり推進課との連携のとり方**がまだわからない。家庭と相談してもなかなか具体的な動きにつながらないことがある。

佐久市として、地域との連携（送迎等）も含めた切れ目のない支援につながる連携体制づくりが必要。どのように連携しようとしているのか、具体的に示してほしい。

・不登校の要因は様々あり、本人の思いに誰が・どのように丁寧に寄り添うのか。

・義務教育終了後、どのように連携して支援していくか。

○**連携マップの見直し**（含 フリースクール等の民間施設情報提供）が必要。